

1. 気象概況（中野市長丘地区気象ロボット観測データによる）

| 月間 | 旬別 | 上旬 | | 中旬 | | 下旬 | | 月間 | | 特記・コメント |
|----|----------|------|------|------|------|------|------|-------|-------|----------------|
| | | 本年 | 平年 | 本年 | 平年 | 本年 | 平年 | 本年 | 平年 | |
| 4月 | 平均気温(°C) | 8.5 | 7.7 | 11.2 | 9.5 | 13.7 | 12.0 | 11.1 | 9.7 | 月間平年比+1.4°C（高） |
| 4月 | 降水量(mm) | 5.0 | 51.0 | 29.0 | 28.1 | 53.0 | 19.0 | 87.0 | 98.1 | 月間平年比89%（少） |
| 4月 | 日照量(h) | 85.2 | 65.1 | 66.3 | 71.6 | 56.7 | 71.9 | 208.2 | 208.6 | 月間平年比100%（並） |

2022 4月中旬気象ポイント

- ◆ 気温：最高気温 27.1°C（4/25） 最低気温 -2.6°C（4/17） 降霜 夏日観測（4/10-14、25-26）
- ◆ 降水量：※概ね平年並みに経過。4/14 19.5 mm、4/27 19.0 mm、4/29 24.0 mm 観測。
- ◆ 日照量：※やや少ないが、概ね平年並みに経過。
- ◆ 氷点下観測：計4回 ※4/2・3・16・17（4/3 -2.8°C）（4/17 -2.6°C）

2. 生産の経過・病虫害発生状況・今後の対策

- ① 生産基盤（推定）：ぶどう 346ha（昨対+3）・りんご 150ha・もも 83ha・和梨 12ha・西洋梨 6ha・桜桃 7ha・柿 6ha・プラム 38ha
- ② 発芽：プラム 4/3、りんご 4/5、もも 4/3、南水 4/10、ラフランス 4/11、おうとう 4/7、柿 4/10 巨峰 4/25、シャイン 4/27
*豪雪・低温により、3月の地温が平年より低く経過。発芽は、平年よりも3日程度遅れた。
- ③ 開花：プラム 4/12、おうとう 4/14、もも 4/18、ナシ 4/21、ふじ 4/25、（巨峰 6/3、シャイン 6/8） *平年並み～やや早い
*4/9からの高温で一気に開花進む。
- ④ 満開：プラム 4/15、もも 4/23、おうとう 4/24、ナシ 4/25、ふじ 4/27 *平年比-2日程度。
- ⑤ 雪害：R3年末からの降雪により、長丘地区山手、柳沢、田上、岩井地区のりんご・もも等で枝折れ散見。
ぶどう棚倒壊・損傷等約50件あり。
- ⑥ 獣害：日野、長丘、科野、倭地区地区中心に、猪・鹿による果樹園地への被害が多発。（猪：園内、土手を荒らされる。鹿：りんご等の主幹表皮・芽を食害）
- ⑦ 野鼠：りんご・桃などの果樹類に野鼠による幹や根の食害が散見される。
- ⑧ 凍害：冬季の低温により、モモなどで枝の枯れ込みが散見される。
- ⑨ 凍霜害：4/17の低温により、りんご・梨などで花器異常が確認されている。
- ⑩ ハウス
 - ◆ サクランボ：被覆計画棟数20棟。被覆棟数20棟（昨年20棟）。モモ：1棟。プラム：1棟。
 - ◆ 積雪量多く、燃油価格も高騰していることから例年よりも被覆が遅れたハウスが多い。
 - ◆ 出荷開始：サクランボ 4/3～（昨年比+5日）1件。モモ 5/上旬～。プラム 6/上中旬～。
 - ◆ ぶどう：計画130棟・30ha。シャイン初出荷5月中旬予定。ピーク7月下旬～8月上旬頃。全体に1～2月被覆は昨年より遅れた。地温が平年より大幅に低かったため、加温～発芽期に入るまでは平年より時間を要した傾向。縮葉症、マンガン欠乏等発生あり。全体には生育は順調。初出荷 4/27（パープル・種なし巨峰・ブラックビート約132kg分）。
- ⑪ 防除ポイント
 - ◆ シャイン黒とう病：発芽前・展葉後（5/10頃）の初期防除徹底による密度抑制重要。
 - ◆ 黒星病：5月下旬（梅雨前）までの防除徹底による密度抑制必須。
 - ◆ せん孔病：6月中下旬（梅雨明け前）までの防除徹底による密度抑制+せん孔細菌罹病枝の切除。